

電子複写不可

V57 / 原



有末精三中将



防衛研究所図書館



空軍作戰に関する昭和三十年六月一日  
司令部第一課の情況判明

(昭和二十四年九月二十二日  
有末精三中將證明)

昭和三十年六月一日  
司令部第一課  
Estimate  
of  
the Situation

Selso Arlane, certify that the following  
has been transcribed accurately and represents, to the  
best of my knowledge, the facts pertaining to the subject under  
discussion as I remember them this date.

*Selso Arlane*  
Signature

證 明 書

私(有永精三)は茲に下記の記述に就いて私の  
知り得る限りに於て正確なるものであることを保證する

昭和四年九月五日

現住所 東京都豊島区根岸四三九

舊時の職名 (自昭和六年  
至昭和十年八月十五日)  
参謀本部世部長(中務)  
有永精三  
氏名印



昭和二十年六月一日  
軍令部第一號

情 況 判 断

一 天候作戦進捗

天候作戦ハ海陸軍航空兵力ノ累次ニ亘ル大規模攻撃ニ依リ敵海上兵力ニ多  
大ノ損耗ヲ與ヘ地上部隊ノ取圍ト相俟テ敵ニ多大ノ出血ヲ強要シ敵ノ豫定  
計畫ニ大ナル阻礙ヲ生ゼシメ敵ヲモ連東時漢ヲ一乃至二月延延セシメタル  
ノミナラス機動部隊ノ蒙リタル損害ハ其ノ飛躍的進取ヲ不可能ナラシメタリ  
然レドモ沖縄本島方面地上作戦ハ漸次悪化ノ傾向ヲ辿リ配備兵力ノ甚少ト  
相俟テ甚ニ沖縄本島ノ大半ヲ陥平ニ委スルノヒムナキニ至リ我地上部隊ノ  
組織的作戦モ概キ六月中旬以後之ヲ豫期スルハ至難ト判断セラル  
他國沖繩周邊ノ状況ハ尙我有利ナル航空作戦ヲ以テ敵海上兵力ニ痛撃ヲ加  
ヘ得ベキ好機存スルヲ以テ天候航空作戦ハ益強化續行シ敵ノ次期進取ヲ益  
延延セシムルコト固ヨリニシテ敵ガ既ニ北、中、南及伊江島等ノ使用ヲ開始  
シ尚沖繩島ニ對シテモ五ヶ所ノ新飛行場ヲ完成シ基地航空兵力ノ大増強ヲ企  
圖シアル情況アリト雖モ六月下旬初歩頃迄ハ概キ從來通ノ作戦實施ハ可能  
ナリト認ム

括弧ニ大ナル氣球ト進歩セシメタルニシテ、  
 大ノ戦績ト見ヘキト信スルノ、  
 久良自衛ハ、  
 一々補修維持等

新編陸軍

計	不詳	百天ノ他	?	△	○	□	△	△	△	計	中	小	大
五五八一三六〇(沈又ハ大破)	五五	二四	四七	七四	一八	二	一三一四(沈又ハ大破)	一〇一一(沈又ハ大破)	一〇一一(沈又ハ大破)	二二一	一〇六	二	六
		八	二八	一八	一一	三							

對日作戰充當兵力  
進歩上兵力

▲	●	△	△	▲	計	中	小	大
200/200	14/49	20/21	88/78	12/20				
222/208	22/56	21/22	64/60	20/29				
244/224	22/64	22/25	70/66	22/28				
254/231	24/64	24/24	74/69	20/28				

一 本表ハ四月末米國發給數字ヲ基  
 トシ天龍作戰結果ヲ加味セルモ  
 ナリ  
 (分母ハ保有兵力、分子ハ對日作戰  
 充當兵力)  
 一 沈又ハ大破船隻ハ▲ニ就イテハ全  
 艦大破、△ニ就イテハ沈及大破各  
 半數ト推定シ最悪ノ場合ヲ考慮ス  
 一 大破船隻ハ二月乃至三月ニテ約半  
 數、三月乃至四月ニテ殘半數作戰  
 參加可能トス  
 一 新造艦「アンタム」ハ六月末、「トラ  
 ツ」ハ七月末、「ブギ」ハ八月末作  
 戰參加可能トス又「サトシ」ハ「レンジ  
 ヲ」ハ訓練用トシ計上セズ  
 一 △保有兵力中ニハ英ニ歸還セルモ  
 ノ及神戶作戰前ノ喪失數ヲ含メテ  
 算アリ

地域	中 部 太 平 洋															比 例
	アラスカ	アリゾナ	ユタ	アイダホ	ワイオミング	コロラド	ニューメキシコ	アリゾナ	ユタ	アイダホ	ワイオミング	コロラド	ニューメキシコ	ニュージーランド	斐 律 賓	
五月末	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
六月末	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
七月末	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
八月末	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
九月末	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合 計	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

(備考)

一七月末頃ヨリ在隊兵力ノ一部右正衛ニ出現ヲ察知ス  
 一本土方面作戦ニ参加スベキ在隊兵力推定別表ノ趣

期	方面	▼ 977 方面	従 貴 局	用 途 附 属	比 属 方 面
5 月 末		B-29 × 600 B-24 × 50 PB4Y × 20 Fe × 80 地上機 × 100	B-29 × 40 (不降着) P-51 × 200 P-51 × 25 其ノ他 × 10	P-47 × 100 P-51 × 100 地上機 × 100 PV × 20 ↓ × 40	Fe { P-47 P-51 } × 900 B-24 × 450 PB4Y × 100 Fe PV × 50 B-25 × 200 A-26 × 100 其ノ他 × 50
6 月 末		B-29 × 700 其ノ他 同上	B-29 × 50 B-24 × 150 P-51 × 250 P-51 × 50 其ノ他 × 10	P-47 × 250 P-51 × 100 地上機 × 100 B-24 × 50 PV × 20 ↓ × 40	Fe × 1000 Fe × 1100 { B-29 × 150 } 其ノ他 × 50
7 月 末		B-29 × 850 其ノ他 同上	同 上	P-47 × 300 P-51 × 100 地上機 × 100 B-24 × 50 PV × 30 ↓ × 40	Fe × 1500 Fe × 1600 { B-29 × 300 } 其ノ他 × 50
8 月 末		B-29 × 850 其ノ他 同上	同 上 B-24、B-29 代替ス ルヤモ知レス	P-47 × 500 P-51 × 100 地上機 × 100 B-24 × 200 PV × 30 ↓ × 40	Fe × 2000 Fe × 2000 { B-29 × 400 } 其ノ他 × 100
9 月 末		同 上	同 上	P-47 × 400 P-51 × 100 地上機 × 100 B-24 × 300 PV × 30 ↓ × 40	Fe × 2500 Fe × 2000 { B-29 × 500 } 其ノ他 × 100

5月	1460
6月	1000
7月	1000
8月	1000
9月	1000

地上兵力

圖式表

000 X (10-1)	001 X 4
002 X 100	003 X 2
004 X 200	005 X 0
006 X 0	007 X 1
008 X 100	009 X 100
010 X 100	011 X 100
012 X 100	013 X 100
014 X 100	015 X 100
016 X 100	017 X 100
018 X 100	019 X 100
020 X 100	021 X 100
022 X 100	023 X 100
024 X 100	025 X 100
026 X 100	027 X 100
028 X 100	029 X 100
030 X 100	031 X 100
032 X 100	033 X 100
034 X 100	035 X 100
036 X 100	037 X 100
038 X 100	039 X 100
040 X 100	041 X 100
042 X 100	043 X 100
044 X 100	045 X 100
046 X 100	047 X 100
048 X 100	049 X 100
050 X 100	051 X 100
052 X 100	053 X 100
054 X 100	055 X 100
056 X 100	057 X 100
058 X 100	059 X 100
060 X 100	061 X 100
062 X 100	063 X 100
064 X 100	065 X 100
066 X 100	067 X 100
068 X 100	069 X 100
070 X 100	071 X 100
072 X 100	073 X 100
074 X 100	075 X 100
076 X 100	077 X 100
078 X 100	079 X 100
080 X 100	081 X 100
082 X 100	083 X 100
084 X 100	085 X 100
086 X 100	087 X 100
088 X 100	089 X 100
090 X 100	091 X 100
092 X 100	093 X 100
094 X 100	095 X 100
096 X 100	097 X 100
098 X 100	099 X 100
100 X 100	101 X 100

記 事	合 計	軍 種					備 分
		歩 兵	騎 兵	空 軍	裝 甲	歩 兵	
(註) 專用兵力所及裝備ノ相當量位ニ作戰所及車輛品ハ米本國ヨリ直 接比島方面ニ輸送ス 各月末兵力ノ分母ハ保有兵力、分子ハ對日作戰充當豫想兵力ヲ示ス	57 144	5 10	50 134	1 2	2 10	4 22	45 90
	59 144	6 10	51 134	1 2	2 10	4 22	44 90
	61 144	7 10	52 134	1 2	2 10	5 22	44 90
	73 144	7 10	64 134	1 2	3 10	7 22	53 90
	95 144	8 10	85 134	1 2	4 10	10 22	70 90

「本表ハ左ノ假定ニ基キ推算ス  
 (1) 五月以降毎月二箇師團ヲ米本國ヨリ對日作戰ニ増派ス  
 (2) 歐洲西部戦線充當兵力約六十箇師團中差當リ其ノ約半量ヲ左ニ依リ  
 對日戦ニ得用ス

第四次	歐洲出發	比島方面到着	作戰準備完了
第一次	約一〇	五月中、下旬	七月末迄
第二次	約二〇	六月	八月末迄
		八月末迄	九月末



本土要攻

期	本			
	陸軍	海軍	空軍	海軍
四月末	54 00	4 33	3 01	1 33
五月末	44 00	4 33	3 01	1 33
六月末	44 00	4 33	3 01	1 33
七月末	53 00	4 33	3 01	1 33

取攻進ノ目的ヲ達成セル主要米ハ急進對日終戦ヲ焦慮シアリ可及的  
 空兵力ヲ對日戦ニ集中指内シ出量ノ極限ヲ圖リソソ我ノ準備未ダ整  
 ハザルニ乘ジ近路ヲ經ルコトナク直路我本土要攻使意ヲ企圖スベシ

即チ假令若干無運押スルモ運送速次ヲ計ルコト自體ヲ綜合出量ヲ小  
 ナラシムル方策ト觀ムベク且沖繩作戦ノ經過ヲ深ク勘考シテ作戦成功  
 ノ見達付タ限リ感ルベク速ニ先ヅ本土兩西面要域ヲ奪取シ次イテ戦争  
 ノ終末ニ備テ得ベキ致命要域（東京ヲ中心トスル關東方面）ニ對シ終  
 極ノ大規模作戦ヲ展開推進シ來ル算大ナルベシ

本作戦實施ニ當リテハ英海空兵力ノ協力ヲ豫期スル安アリ  
 尙夏秋ノ候ニ於テ「ソ」ノ對日戦加入ノ算増大シツツアルハ汗ビラヌス  
 右ニ基キ敵ノ執ルベキ企圖概テ次ノ如シ

(1) 沖繩作戦ノ概成ヲ促進シ有力ナル海空基地特ニ多數ノ航空基地ヲ  
 急進整備シテ我本土進取準備態ヲ整フ

(2) 薩長島「マリアナ」方面航空兵力ノ離港的強化ヲ計リ前項沖繩方  
 面航空兵力ト相俟テ重要施設、交通要點、都市等ニ對スル攻撃ヲ以  
 テ我本土ノ政戦關係機軸ノ徹底的破壞皎ニ民智ノ軟化ヲ計リ此ノ間  
 我航空兵力ノ撃滅ヲ企圖スベシ

此ノ間潜水艦ト相俟テ日露支海上交通ノ分斷ヲ強化スルト共ニ慎重

ノ使用、航空軍ノ徹底化ニ依リ北滿日本及日本海ノ一部以外ノ海上交通ノ麻痺ヲ策スベシ

此ノ新設航空兵力ハ取敢終結ニ依リ七月末以降大型機三〇〇〇程度増用増勢スベキコトヲ打算シ置クヲ要ス

(一) 沖縄方面航空攻撃能力増大、船舶船地後得地ニ小型機攻撃機推進等ノ爲沖縄作戦ニ餘裕アラバ速ニ徳ノ島、喜界島、奄美大島等ニ對シテ連作戦ヲ行フ其次ニシテ其ノ時機ハ六月中旬頃ト判断ス

(二) 沖縄方面、「マリアナ」方面、菲律賓航空基地群完成シ之カ利用ニ依ル本格的本土攻撃戦ニ航空軍威威戰況ニ交通要點ニ對スル攻撃奏效シ且敵機動部隊ノ所要兵力再整備セバ航空兵力ノ主力ハ次期攻戦ニ對スル戦術準備ニ移行スベシ右時機ハ沖縄方面基地整備情況等トモ相俟シ六月中旬以降之ヲ豫期スルノ要アリ

(三) 敵方先ヅ南九州、西國兩岸地區ニ進攻スルコトナク一舉關東地區ニ進攻スルノ算ハ天變作戦結果ニ備キ極メテ渺少ナリト認ム

而シテ敵ノ船團乘機現狀等ニ備キ本格的本土上陸作戦準備ハ僅ニ其ノ緒ニ着キタル程度ニシテ今後ノ情報推移ヲ嚴重監視ノ要アルモ現狀ニ於テハ九州、西國方面東京ハ七月上旬以降之ヲ豫期スルノ要アリ

(四) 關東方面東京ハ敵兵力整備ノ備ヨリ九月上旬以降之ヲ豫期スルノ要アリ

... 北支那方面作戦に際しては陸軍大ナル取調ヨリノ專用航空兵力ヲ收蓄  
スベキ我本土軍艦基地獲得ヲ目的トシテ實施スルノ算アリ  
而シテ之ヲ行フ場合其ノ時機ハ六月以降成ルベク速ニ開始シ且急遽完  
成シ得ル如キ地盤ヲ選定スベク若シ六、七月ノ候ニ之ヲ假使フ配メザ  
レバ之ヲ行ハザル算増大ノ傾向ニアリ此ノ場合ハ爾後對本土作戦トハ  
獨立セル中支確保ノ政略作戦ヲ執ラントセルモノト観ルルヲ至當トス  
(9) 南支、佛印方面ニ對スル作戦  
本作戦ハ英國、佛印軍等ヲ主體トシ失地回復作戦トシテ主作戦トハ別  
個ニ併行スルノ算概テ預實ナリ  
(10) 千島、北海道方面ニ對シテハ率制作戦程度以上ニ出ル算殆ンド無シ  
ト認ムルモ對露關係特ニ蘇聯參戰ノ場合ハ米トシテハ情況許ス限り本  
作戦ヲ全面スル算大ナリ

其後ノ方針

(1) 沖縄島周邊艦隊及航空基地ニ對スル航空作戦ヲ極強ニ履行シ敵

(内) 非中流式高射砲に入射した大口径の砲弾は、敵艦に命中した。...

(ロ) 敵艦の航行方向を監視し、必要に応じて射撃を行う。...

(ハ) 敵艦の位置を正確に把握し、射撃の精度を高める。...

(ニ) 敵艦の動きを予測し、先制射撃を行う。...

(ホ) 敵艦の防御力を弱体化させ、攻撃の機会を創出する。...

(ヘ) 敵艦の沈没を防ぎ、戦果を最大化する。...

(コ) 敵艦の残骸を確認し、戦況を分析する。...

本作戦ニ於テハ敵艦隊攻撃力ノ増強ヲ以テ攻撃效果ノ徹底ヲ期スルヲ要ス

本機隊戦ニ於テハ喜界島、徳ノ島、石垣島等ノ基地ノ全備活用ヲ計リ得ル如ク航空威力ノ強化ヲ計リ好機を捕捉及白濁等ヲ推避ス

尚敵艦方面ヨリスル攻撃兵力ヲ増大スル如クス

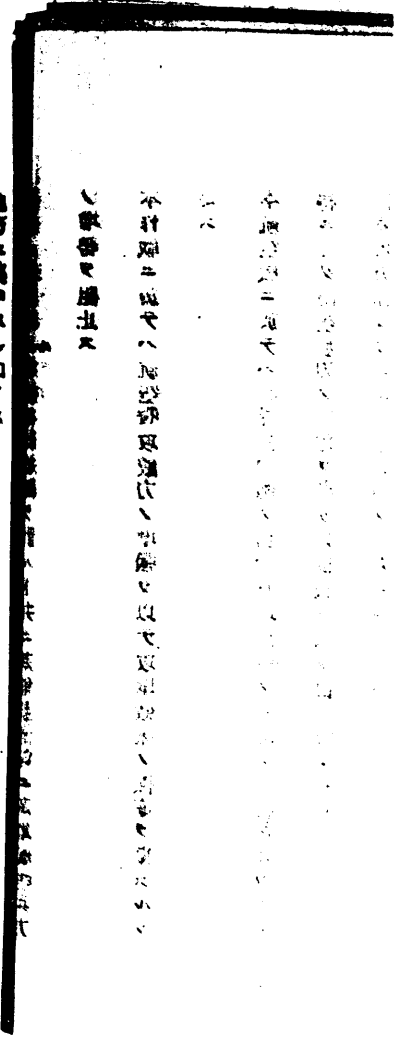
(四) 右作戦效果ノ發揚ヘ敵機部隊ノ兩面積島海圍滞留ヲ強要シ得ル所ニ以テシテ機隊ニ富ム攻撃ヲ以テ敵母艦群ヲ捕捉擊破ス

本作戦ト併行シ丹作戦ヲ以テ敵空母ノ漸滅ニ努ム

(五) 戦況展開不利ニシテ沖繩島敵基地航空兵力躍進的ニ増強シタル以後ハ強制ナル沖繩島敵航空戦ヲ中止シ黎明沖繩夜間ノ攻撃ヲ主トスル機隊ニ富ム攻撃ニ専候ス

(四) 戦況有利ニ展開シ沖繩島敵艦船ヲ擊破シタル場合ハ復ラ失セズ機隊ヲ結集シテ航空隊被撃ニ移轉シ之ト併行ニ沖繩方面増援作戦ヲ行ヒ得ル如ク新案ノ準備ヲ促進ス

(四) 又敵航空作戦ニ支障ナキ限リ兵艦作戦準備ヲ全面的ニ後退シテ之ガ完成ヲ促進シ先づ四國、兩九州ニ機隊ノ富點ヲ置キ若シ七月下旬頃迄九州、四國ニ軍攻ヲ見ザル場合ハ機隊ノ最富點ヘ移動可能兵力ヲ關東



一、海軍省が、海軍部を統轄するに當り、海軍省の組織を改組し、海軍部を海軍省の第一局とし、海軍省の各局長官を海軍部次長に充てることとする。

二、海軍省の各局長官は、海軍省の業務を掌理し、海軍部の業務を掌理することとする。

三、海軍省の各局長官は、海軍部の業務を掌理し、海軍部の業務を掌理することとする。

**地方整備中ムル如クヌ**

- (1) 南北ノ間對華英艦備ヲ阻害セザルニ努メツテ對華警戒設備ヲ實施ス
- (2) 東洋ノ海空防禦警備強化ヲ計リ得ニ陸海軍航空兵力防禦兵力ヲ綜合シ重點指回ニ徹スル如クヌ
- (3) 對華警戒ヲ嚴ニスルモ毎クモ蘇聯ヲ監視スル如キ行動ハ一切之ヲ行

